

1 人権尊重に基づく男女共同参画の意識づくり

対象事業	現状・課題	意見	理想像
<p>事業番号1 人権教育、家事能力向上・家族の役割と責任の学習 【令和2年度報告書】P3</p>	<p>・中学校ではキャリア教育の一環として家庭科の授業の中で保育学習を行った。</p>	<p>・子育ての大変さ等を実践で学ぶ保育実習は大切なので、コロナがなくなったら、再開してほしい。 ・生徒の意欲を高めて、積極的に参加しないと、実習が効果あるものにならない。生徒の意欲を高めるよう努めてほしい。</p>	
<p>事業番号4 生涯学習における教育者の研修 【令和2年度報告書】P3</p>	<p>・社会人権・同和教育指導者養成講座(全5回)にまちづくり推進センター職員(新人職員)が参加し、人権に関する研修を受けるが、令和2年度は新人職員がいなかったため実績なし。</p>	<p>・新人のみ参加にしているが、新人でなくても継続的に職員に対し研修をしていく必要があるので、新人以外の職員も参加するようにした方がいい。</p>	
<p>事業番号5 職場体験学習の充実／進路指導の充実 【令和2年度報告書】P4</p>	<p>・性別にとらわれることなく職種の学習を行い、実際に職場体験を通じ将来の職業を見通し、進学先の選択を指導した。</p>	<p>・職場体験は受入先の確保が困難で生徒の希望通りの職場に行けない場合がある。生徒の意欲を高めるのにつなげるように、希望の職場で体験できるよう受入先の確保や拡充に、より一層取り組んでほしい。</p>	
<p>事業番号6 出前講座・講演会の開催 【令和2年度報告書】P4</p>	<p>・市民を対象に鳥栖北・旭まちづくり推進センター・旭小学校で開催された人権学習会の中で、外国人や女性、LGBT等の人権について、市職員による講話を行った。</p>	<p>・外国人の人権については、日本語学校と連携して、地域のイベント等に参加して地域住民との交流をしているが、日本語学校のある地区に固まっている。今後そのような交流の機会を市内の全地区に広げてほしい。 ・地域のイベントを考えると習字やお茶会など日本文化をテーマにしたものをすると外国人は関心が高く集まるので、そのようなテーマで考えてはどうか。</p>	

<p>事業番号7 男女共同参画の視点での講座・講演会等の開催 【令和2年度報告書】P4</p>	<p>・市民を対象に各まちづくり推進センターで、鳥栖市社会教育指導員による人権・同和学習会を開催し、人権意識の高揚を図った。 ・参加者総数:200人</p>	<p>・各まちづくり推進センターでした研修は合計200人なので、各まちづくり推進センターで10人ずつで少なすぎる。参加者も民生委員等同じ人に何度も動員が来る。若い人等幅広い年代で新しい人が来てもらえるよう周知、内容、募集等を工夫してほしい。 ・より多くの人に参加するよう時間・曜日等いろいろなパターンで試してはどうか。</p>	
<p>事業番号15 地域活動への参加促進／市民活動団体の情報提供／市民活動センターへの支援 【令和2年度報告書】P7</p>	<p>・NPO、ボランティア活動を実践されている方や、市民活動をはじめようとされている方々が、情報交換や、活動を行うための拠点として利用できる市民活動センターに対して、支援を行った。</p>	<p>・ボランティアは災害・河川の清掃のイメージがあるが、地域の花壇づくり等より身近で小さな活動もボランティアを募集しているので、そのような多様なボランティアについてももっと積極的に広報してほしい。 ・ボランティアの募集も無償ではなく、地域ポイントを付与する等、参加する動機づけが必要であるので、そのような制度の工夫をしてほしい。 ・高齢者で支援を必要としている人がすぐわかるように、支援を必要とする場合は家に黄色い旗を掲げる等ボランティアの支援を必要とする人がすぐわかるようにする制度も考えてほしい。 ・晩婚化の影響で50代でも子育て中の人もあり、そのような社会現象がボランティアの担い手の減少に影響していると感じる。そのような社会現象は今後も変わらないのではないかと思う。</p>	

## 2 男女が生き生きと働きともに支える社会づくり

対象事業	現状・課題	意見	理想像
事業番号 19	40%をお願いして達成している状況なので、自然に達成できるようになるべき。	現在、地区 PTA をお願いしているところを単位 PTA をお願いするなど、多くの人の声が届くようにしてほしい。	
	女性人材リストから審議会に登用されていない。	女性人材リストから委員になれるようにしてほしい。 また、講師として活用するなどしてほしい。	
事業番号 22	他市で女性の性被害者がいる。また、どこに相談して良いか分からない。	女性の被害への支援や生理用ナプキン等の備品についてマニュアルに入れてほしい。 どこに相談したらよいか分からない人が多い。	

## 4 女性が活躍できる社会づくり

対象事業	現状・課題	意見	理想像
事業番号 43	病児保育を実施すべき。	小児科だけでなく他の科で実施できないのか。 新型コロナウイルス感染症が終息した際に事業開始できるよう取り組んでほしい 他自治体の事例等を参考にしながら実施方法を検討してほしい	
	病後児保育の利用延べ児童数が少ない	利用の基準が高いのではないかと。 周知されていないのでは。	
事業番号 45	協力会員が少ない。	ニーズはあるので、より周知して協力会員を増やしてほしい	
具体的施策 29	おむつ交換台が女子トイレしかない、授乳室が1つでは男性と女性が同時に利用できないなど、男性が育児をしにくい環境がある。	市役所の新庁舎がモデルとなって、アピールすべき。	
全体		若い人が気軽に意見を言える座談会があればいい。	
		具体的施策で重複する内容のものは、減らしても良いのではないかと。	